

5 / 17土 奨学金説明会について、多子世帯（兄弟3人以上）も説明があります。

来年度入学したときに、大学生以下が3人以上になると













給付奨学金（年収600万以下）及び授業料や入学金の支援があります。


問3-2 「多子世帯」であれば、子供全員が対象となりますか。

⇒ 子供を3人以上同時に扶養している間に、大学等に在学している子供は全員対象となります。例えば、子供を3人同時に扶養している間に、2人同時に大学等に在学している場合は、2人とも対象となります。

なお、第1子が卒業等により扶養から外れ、扶養する子供の数が2人となった場合は、本制度における「多子世帯」ではなくなるため、多子世帯としての支援は終了します。

支援対象 = **扶養する子供が3人以上** かつ **大学等に通っている場合**

	第1子が 大学進学	第2子が 大学進学	第1子卒業後	
			大学院進学	就職
卒業後				
大学生	 支援対象	 支援対象  支援対象	 支援対象	 支援対象外
高校生以下	 			

※  は扶養する子供

第1子が扶養から外れた場合、
第2・第3子は支援対象外に
※本制度への申込み時点によっては引き続き第2子以降も支援を受けられる可能性があります。(問8-1参照)
※多子世帯に該当しなくなった場合でも現行制度における世帯年収に応じた支援は受けられる可能性があります。

【支援金額について】

問4-1 「国が定める一定の額」とはいくらですか。

⇒ 以下の額(現行制度における満額支援と同額)の入学金・授業料を支援(返還不要)します。(各学校の授業料等が減額されるものであり、直接、学生本人に現金が支給されるものではありません。)

	国公立		私立	
	入学金	授業料	入学金	授業料
大学	28万円	54万円	26万円	70万円
短期大学	17万円	39万円	25万円	62万円
高等専門学校	8万円	23万円	13万円	70万円
専門学校	7万円	17万円	16万円	59万円

○高等教育費の負担軽減の全体像

- ・ 教育の機会均等及び少子化対策の観点から、公費による全国的な制度として、高等教育の修学支援新制度及び貸与型奨学金により学生等の経済的負担を軽減。
- ・ 高等教育の修学支援新制度では、年収に応じて、段階的な支援を実施。(第Ⅰ区分～第Ⅳ区分)

(※下記の年収目安の金額は上限額ではなく、家族構成によって変動しますので、あくまでも目安の金額として御覧ください。)

例えば、両親・子供3人(本人・高校生・中学生)の場合、第Ⅳ区分までの対象となる世帯年収は約680万円となります。)

